

自治体キャラバン 北広島町と安芸太田町

地元業者のインボイス危機にも他人事!?

11月7日（火）、広島北民商も加わっている「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動・広島県実行委員会の『自治体キャラバン』で、北広島町と安芸太田町に伺いました。

『自治体キャラバン』

は毎年県内すべての自治体に対しておこなわれているもので、労働組合や民医連・医療生協などの病院関係者、学校や保育などの教育関係者などと共に、民商・県連からも参加しています。今回、広島北民商からは久村会長と磯道事務局員の2人が参加しました。



要請書を渡す参加者。左から磯道事務局員、久村会長、神部実行委員長。



今回の要請項目は7つあり、その中で民商・中小業者からの要望として、町に対し「インボイスの廃止を求める要請」を、町議会に対し「（同要望の）国へ意見書を上げるよう求める陳情」をおこないました。インボイス制度によって事業者が負担と悪影響について説明し、廃業などから地域経済の衰退にもつながるので、自治体の立場からインボイス制度の廃止を求めるよう要請しました。久村会長は、実際にインボイス制度の登録を求められる個人事業主として、請求書や帳簿などの対応や、課税業者に

なる事で消費税申告が必要になるなどの事実面の煩雑さと、登録状況によって取引を制限されたり不当に値切られたりするなど、仕事への悪影響がすでに起きている事などを踏まえ、中小業者の厳しい実情を訴えました。それに対する各町の回答は、北広島町の税務課長は「消費税は国税なので、私たちの管轄外だとは思いますが」と前置き、「制度の複雑さは分かっている。免税業者が選択を迷っているという相談もあった」と答える一方で、「税務署が中心となり、商工会などと連携して説明が不足しないよう対応している」と回答しました。前置きも合わせ、他人ごと、税務署任せのような感じを受けました。もう一方の安芸太田町は、税務担当者が同席していない事を理由に「回答はできませんが、要請は受け取りました」という残念な回答でした。

- 各町への要請の後に、各町議会の議会事務局を訪ね、同様に趣旨説明をして、議会への陳情をおこないました。
- ① インボイスの廃止を求める
  - ② 医療機関の物価高騰への財政措置の継続を求める
  - ③ 健康保険証の廃止撤回を求める
  - ④ 学校給食の無償化を求める

- ⑤ 生活保護基準を上げ物価対策給付金の支給を求める
- ⑥ 高校授業料無償化、給付奨学金制度の確立を求める
- ⑦ 自衛隊募集にかかる募集対象者の情報提供を行わないことを求める

【磯道記】

- ◎ 14日（火） 要求運動部会
- ◎ 15日（水） 常任理事会
- ◎ 16日（木） 県国保交渉
- ◎ 18日（土） 陽気な道場
- ◎ 19日（日） 民商大好き交流会

にっぺい

「民商大好き♡交流会」 (商工交流会2023)

日程：11月18日（土）～19日（日）

会場：神田山荘

内容・企画：

◎ 18日（土）13時～17時

企画①「商売を語る会」(パネルディスカッション)

コロナ禍・物価高騰の中、事業を伸ばすための努力・工夫を交流し、事業継続の力にします。民商の魅力を交流し、中小業者の危機打開を目指します。

企画②「活用しようSNS！」

商売を伸ばすためのSNS活用、民商を増やすためのSNS活用

企画③「分散会」仲間と交流

◎ 19日（日）9時～12時30分

企画④「自主計算に磨きをかけ、不当な調査を許さない」

インボイスQ&Aで学習を。自主計算活動の経験を交流し、不当な税務調査を許さない対策と運動を継承します。

企画⑤「分散会」仲間と交流

対象者：民商会員の方。参加費は無料ですが、人数確認と資料準備のため、必ず事務局まで事前申し込みをお願いします。

(主催・広島県商工団体連合会)

融資、多重債務・サラ金、滞納のご相談は

『陽気な道場』へ

毎週木曜日 夜7時から

法人の会員さんも一緒に税金学習を

『法人学習会』

毎月第4火曜日 昼2時と夜7時

『税務調査の対策会議』は随時開催します!!